

グランドカバーに適する樹木

問 シバザクラを植えているのですが、花が終わったあとがあまりきれいではありません。木の仲間で、これにかわるようなものはないでしょうか。 (札幌 E生)

答 シバザクラのように地面をおおうために植えられる植物は、グランドカバープランツ(通称グランドカバー)と呼ばれています。

グランドカバーを行う目的は、土や砂が飛ぶのを妨ぎ、地表面を美しくするためです。また土の固結や乾燥を防いだり、斜面では侵食防止にもなります。このようなことから、造園用には昔からよく使われていますし、最近では公園の樹木や街路樹の下、あるいは道路の法面など、公共緑化にも利用されています。

現在道内で使用されているものではシバザクラが有名ですが、木本類でもいくつかの種類が植えられています。現場での植栽試験の結果をもとに、グランドカバーとして普及できそうな樹種とその特性を表に示しました。

これらの中で耐陰性のあるものは、ナツツタ(写真-1)・フッキソウ(写真-2)・ツルマサキ・ツルツゲ・ナニワズです。日当りの良いところを好むものはイブキジャコウソウ・ベニシタン・ハイネズです。ツルコケモモは日当りの良いところを好みますが、乾燥を嫌います。なお、ベニシタンは道東や道北の一部では生育が難しいところがあり、ナツツタは道東ではやや難しいようです。その他の樹種はほぼ全道一円で植栽が可能です。

また、サツキやエリカ・カルーナ・コトネアスターなどもグランドカバーに適していますが、耐寒性などにやや問題があります。さらに高山植物の中にも利用できるものがありますが、価格が高く、生長も遅いため、今のところはほとんど使われておりません。(樹芸樹木科 佐藤孝夫)



写真-1 ナツツタ



写真-2 フッキソウ

表 グランドカバーとして利用可能な主な樹種の特性

樹種名	特性
ハイネズ	常緑針葉樹で、塩風に強い。
ベニシタン*	赤い果実が美しい。道内では紅葉する。
ナニワズ	黄色い花は良い香りがする。果実は赤く美しい。夏に落葉する。
フッキソウ	常緑で好陰性。果実は真珠色で美しい。
ナツツタ	紅葉が美しく、壁面などをのぼることもできる。
ツルツゲ	常緑、赤い果実が美しく、耐陰性がある。
ツルマサキ	常緑、壁面などをのぼることもできる。
ツルコケモモ	常緑、淡紅色の花と赤い果実が美しい。
イブキジャコウソウ	常緑、紅紫色の花が美しい。良い香りがする。

* 道内には自生しない。